

様式第2 (第8条関係)

市民活動助成金交付申請書

R5年 5月, 5日

犬山市長

団体の名称 O-COLOR  
 所在地 犬山市上坂町5丁目54番地20号  
 代表者 國島 湊  
 (役職) 代表

市民活動助成金の交付を受けたいので犬山市市民活動助成金交付要綱第8条の規定に基づき下記のとおり申請します。

1. 事業名	O-COLOR LGBT活動
2. 助成金交付申請額	金 10万 円 (総事業費 23万円)
3. 助成部門	(1)はじめの一步部門 (2)市民活動助成部門 (3)コラボ・マッチング部門 ((1)~(3))のいずれかに丸を付けてください。 ※コラボ・マッチング部門の場合、協働する団体の名称
4. 事業実施期間	R5年4月 / 日 ~ R6年3月31日
5. 事業の対象	LGBTQ活動(研修・講演・イベント)
6. 事業の目的 (上記事業対象のどのようなニーズに応えようとする事業ですか?)	多様性のひとつとしてLGBTQ・セクシュアルマイリティについて誰もが生きやすい町づくりを目指す。また多様性の在り方について多くの人にLGBTQを知って頂くきっかけを作ること。
7. 事業の内容 (上記目的のために、この事業をどのように実施する予定ですか?)	保育園や <del>養護</del> 学校、企業などへ研修や講演を行う事。 多くの場所でイベント等に参加や開催して知るきっかけ作り 交流会の実施(一般の方、当事者や関係者を対象にした情報交換や理解を深める場作り)

8. 事業スケジュール (この事業を遂行するために、いつ頃、何をしますか?)

※コラボ・マッチング部門の場合は、役割を担当する団体名も記入してください。

時期	内容 (担当する団体名※)
6月~7月下旬	保育園へ (研修・講演会)
9月~11月	学校へ (研修・講演会)
10月29日	大田市内でイベントの実施 (8月頃告知 チラシ等配布予定) (交流会)
その他	マルチエヤ市のイベントに出席 (年3回) (17-7ショップを通じて多様性について発信を行う)

9. 期待できる効果・成果

(1) 事業の対象に対して、どのような効果が期待できますか? (地域社会への効果などを記入してください。) ※コラボ・マッチング部門の場合は、協働で実施する理由も記入してください。

多様性の存在を伝える事、知ってもらう事であり中人が生きやすくなる。知る事で配慮や新しい可能性を生け出す事ができる。そうすることで当事者や周りの人との違和感が減る。周知や認知が広がる事で様々な人達(地域社会全体)との交流が広がり誰も生きやすい町となる。

(2) この事業の終了時点では、事業対象がどのようなになる状態 (成果) を目指しますか? また、それはどのように確認しますか? (実績報告時に自己評価をします。)

一人か多くかの当事者や周りの人達の偏見や違和感がなくなりSDGsの取り組みの推進化を目指す。  
研修や講演後に簡単なアンケートや感想文を取り入れ実際の様々な人達の声を聞き確認する。

(3) 事業を実施することによる波及効果がありましたら記入してください。

イベントを行う事や参加する事により、イベントを訪れた人にも知るきっかけを与える事ができる。同時にイベントを行う事により、周囲(地域全体)を盛り上げることで、近隣地域へのアピールとなる。

1年の目標として、年3回以上の研修・講演を行う事で20人以上の方に認知をしてもらう。  
(17-7ショップ)

10. 活動費用の内訳書

【収入】

科目	予算額 (円)	内訳
助成金	100,000	市民活動助成金
会費	120,000	一人あたり1月/1000円 × 12ヶ月
代表自己資金	10,000	代表 自己資金
計	230,000-	

【支出】

科目	予算額 (円)	内訳
報償費	30,000円	事業実施に必要となる専門家業者への謝礼金等
旅費	30,000円	団体講成員交通費 (日時距離等の記録)
消耗品費	95,000円	7-7ニョッ70 会場資料・材料費 その他専用品、書籍
印刷製本費	5,000円	チラシ-ポスター等印刷費
通信運搬費	10,000円	振込手数料・ポスター保険料
手数料及び保険料	5,000円	資料・チラシ等の郵送料・郵便費
人件費	55,000円	事業実施に必要不可欠な作業員 1人/1000円
使用料及び賃借料	0	
計	230,000円	

11. 本申請書にかかる担当者の連絡先

氏名：

住所：

# LGBTQ活動団体

# O COLOR -ゼロカラー-

【私たちO\_COLORはこんな活動をしています!!】



O\_COLOR 代表 岡島凌 副代表 小西馨人

## ■保育園から学校企業などへの研修や講演活動

☆多様性のあり方について、皆で考えセッションを取り入れた研修

☆LGBTQ基礎知識理解の研修

☆当事者による自分史講演

☆相談窓口

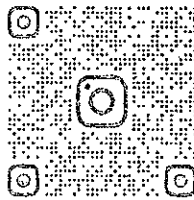
## ■イベント企画・運営

☆多くの人にLGBTQを知ってもらいきっかけを作れるようなイベントの開催

## 『O\_COLORの活動目的』

◎多様性の在り方を伝えること、知ってもらおうことであらゆる人が生きやすくなる町づくり

◎多様性を知る事で様々な可能性が生まれ、一人でも多くの当事者や周りの人達の違和感や偏見をなくす事

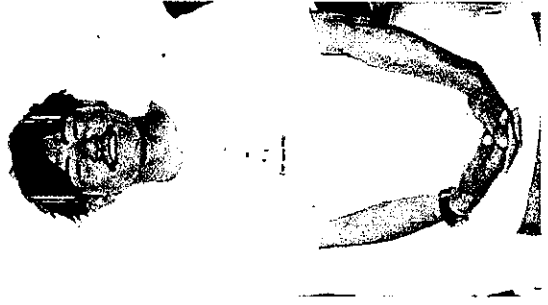


@O\_COLOR.LGBT

## 【O\_COLOR概要】

- 代表者: 國島 湊 (くにしま みなと)
- 団体: O\_COLOR (ゼロカラー)
- 結成: 2022年7月
- 人数: 10名
- 活動: LGBTQと一般の人との交流の場作り  
LGBTQ研修・講演・相談窓口

## 【代表者プロフィール】



- 國島 湊 (くにしま みなと)
- 1988年生まれ 34歳
- 丹羽郡扶桑町出身
- トランスジェンダー当事者
- 2人の子供を持つシングルマザー・ファザー
- 今、現在も自分の性や生き方に問い直し  
続けながら生きています



O\_COLOR活動風景!  
他団体の代表の方とセッション中!

素直に生きる息子達とパシヤリ!!



# LGBT活動団体 ゼロカラー ダイバーシティ (LGBT) 研修会 提案書

○テーマ すべての人が安心して過ごせるために【多様性を感じてみよう】

○対象 小中学校および幼稚園の教職員

○趣旨 すべての人が安心して過ごせる社会とは、人それぞれが多様な存在であることを認めつつ、お互いを尊重しあえる社会である、と私たちゼロカラーは感じています。  
そのような社会がつくられていくためには、まず、人々が在り方や考え、感情や行動様式など多様な性質や心身をもっていることを知ることが大切だと考えます。  
今回の研修では、参加者によるグループでのセッションワークとトランスジェンダー当事者の生き様をお伝えすることによって、皆様が「多様性」を感じる一端をとなることを祈念しています

○時間 60分程度

○主な内容

・アイスブレイクおよびグループワーク（何気ない日常の一コマを通して）

【ねらい】 ・自分の考えや感じ方・行動様式を知る  
・人と自分との違いを感じる  
・それぞれの考えや思いを尊重するためには、何が必要なのかを感じる

・トランスジェンダー当事者による講演（マイノリティの生き様に触れる）

【ねらい】 ・性的マイノリティの体験や経験に触れることで、多様性の一端を知る  
・自分を理解することや表現すること、相手を理解することや受け入れることのプロセスを知り、人とのかかわりを改めて考える機会とする。

・グループワーク（子どもや保護者との具体的なかかわりを考える）

【ねらい】 ・自分の考えや感じ方・行動様式を知る  
・人と自分との違いを感じる  
・当事者が経験した具体的な事例を通して、教職員としてどのような対応が適切なのかを考え、共有する。

・質疑応答、アンケート記入

○その他

・講演会ではプロジェクターを使用予定。

以上

## 【すぐろくを使ったLGBTQ体験（想定時間90分）】

○テーマ すべての人が安心して過ごせるために【多様性を感じてみよう】

○スケジュール

・アイスブレイク（10分） 目的：多様性を感じる

・今日伝えたいこと（3分） 目的：テーマを明確にする

・私のこと（5分：講演） 目的：当事者のことを知る

スライドを使用して、写真などをみせながら・・・

（流れ）① 生い立ちを話す。

② 活動目的を話す。（みんなにどうなってほしいのかを含めて）

・すぐろくを行ってみよう（45分） 目的：LGBTQの心や行動を疑似体験する

① ルールの説明（5分）

② やってみよう（20分）

③ ワークシートに感想や気がついたことを記入（5分）

④ グループセッション（15分）

※ できれば、各グループに一人ファシリテーターがいるといいな・・・

・グループセッションの様子を発表（10分） 目的：研修の気づきや理解を深める

・まとめ・質疑応答など（10分）

**LGBTを知ってもらおう講演会（研修会）流れ 案2**  
**【学校向け向け】時間設定 60分ほど**

○テーマ **すべての人が安心して過ごせるために【多様性を感じてみよう】**

○スケジュール

・アイスブレイク（15分） 目的：多様性を感じる

グループセッションのメンバー同士で行う（1グループ：4～6名ほど）

「あなたの目玉焼きの食べ方は？」・・・自分の目玉焼きの食べ方を挙げる 2分

「これから1か月間食べ続ける食べ方は？グループで1つに決めてください」

・・・グループで回答を決める 3分

今の気持ちを共有する。 4分

全体でグループで出た話を共有する。 3分

・今日伝えたいこと（3分） 目的：テーマを明確にする

目玉焼きは、「別の食べ方に挑戦するのもあり」「どうでもいい」と対立が面倒くさいから多様性に賛成しているだけかもしれないし、説得力をもって意見を言えない人も、こだわりがある人も。それぞれの多様性への態度が現れている。

私の目玉焼きの食べ方は、「○○」です。そして、私にとっての目玉焼きは、性的少数者であることです。今日は、私の生き立ちを通して、それぞれの人が多様性を感じてくださいね。

・私のこと（20分：講演） 目的：湊さんを知ってもらう

スライドを使用して、写真などをみせながら・・・

（流れ）① 性のものさしを紹介する（性自認や性的指向の尺度を伝える）

② 湊さんの今をものさしを使って伝える

③ 生き立ちを話す。（ひかるさんのことも含めて）

（内容は、別紙にまとめました）

④ 活動目的を話す。（みんなにどうなってほしいのかを含めて）

・先生だったら、どうしますか？（10分：セッション） 目的：自分を知る・相手を知る

例：◎ある子が「お前、男（女）じゃないだろ」とからかわれていた。

① 「からかわれていた子に、どう声をかけますか？何を伝えたいですか？」

② 「からかっていた子に、どう声をかけますか？何を伝えたいですか？」

→ 時間になったら、各グループで出た話を発表する。

※ 多分時間が足りなくなるので、①を話すグループ、②を話すグループを決めた方がいいと感じています。

・まとめ（5分）

今日は、目玉焼きを通して、そして、私のことを通して、多様性を感じてもらいました。

また、セッションで子どもに伝えたいことも考えていただきました。

「多様性とは○○である。あなたにとっての○○は？」

その○○を考えるきっかけを、今日の研修で感じていただけたら、とてもうれしいです。

・質疑応答、アンケート記入（任意です）

おしまい



## 【その他】

- ・妊婦体験を通して・・・男女の違いによる、役割分担の在り方を考える
- ・男女差のある集団ゲームを通して・・・男女の区別もしくは差別の在り方を考える
- ・ALLYになるためには、どうすればいいの？・・・ALLYの存在を知る。その必要性を知る。
- ・LGBTQの人は、障がい者なの？・・・障がい者理解も含めた、多様性を考える

## 【講座や研修の機会】

- ・教職員向け講座・イベント
- ・生徒向け講座・イベント
- ・PTA（保護者）向け講座・イベント
- ・子育て支援グループ向け講座・イベント
- ・一般の人向け講座・イベント

## 【当事者の声を聞く】

- ・アイスブレイク（10分） 目的：多様性を感じる
- ・今日伝えたいこと（3分） 目的：テーマを明確にする
- ・当事者として・・・（25分） 目的：当事者のことを知る  
スライドを使用して、写真などをみせながら・・・  
（流れ）① 生い立ちを話す。  
② 活動目的を話す。（みんなにどうなってほしいのかを含めて）
- ・当事者のそばにいる人として（20分） 目的：ALLYの存在を知る  
家族やともだちが感じていること。
- ・グループで話し合ってみよう（15分） 目的：気づきや理解を深める  
各グループに当事者やアライの人が入って座談会
- ・グループセッションの様子を発表（5分） 目的：研修の気づきや理解を深める
- ・まとめ・質疑応答など（10分）

## 【基礎知識講座】

- ・アイスブレイク（10分） 目的：多様性を感じる
- ・今日伝えたいこと（3分） 目的：テーマを明確にする
- ・当事者として・・・（10分） 目的：当事者のことを知る  
スライドを使用して、写真などをみせながら・・・  
（流れ）① 生い立ちを話す。  
② 活動目的を話す。（みんなにどうなってほしいのかを含めて）
- ・よく使われる言葉とその具体的な事例（30分） 目的：LGBTQに紡がれている言葉を知る  
具体的な事例を挙げて、そこで使われる言葉の説明。
- ・グループで話し合ってみよう（15分） 目的：気づきや理解を深める  
具体的事例の対応や気づきを話し合う
- ・グループセッションの様子を発表（5分） 目的：研修の気づきや理解を深める
- ・まとめ・質疑応答など（10分）